

## はじめの一步案の素

第3回古賀市自治基本条例策定委員会（平成27年3月11日実施）

「さらにお互い知り合いながら、まちづくりと今後の活動について語り合おう」

～各テーブルの話題カード・模造紙に書かれたことのまとめ

### 【1テーブル】

#### ●話題カード①に書かれたこと

「あなたにとって古賀市がずっと住みたいと思えるまちであるために、大切にしたいことはなんですか？何でも自由にお書きください」

- ・地域（近所）の人との良い関係でのつきあい ・税金を安くする
- ・地域の方とのコミュニケーション（それによって情報を知る事で、子育てや生活をより良くしたい）
- ・向こう三軒両隣といわれるように、お互いに支え合い、人と人との豊かな関係を築き、なんの不安もなく、安全で安心して生活できるまち
- ・地域の活性化（コミュニケーションの充実） ・青少年の育成（次世代に活力を持たせる）
  - ・体育活動の充実（体力増強、スポーツ精神の醸成）
- ・高齢化社会に対応出来る福祉の充実
- ・環境整備に心がける町
- ・人権を大切にする町

#### ○話題①について模造紙に書かれたこと

- ・隣近所にトラブルがあっては住みたいとは思わない
- ・人に優しい町
- ・少子化対策
- ・医療充実
- ・子育て支援（保育所充実）
- ・体育会に参加する人が少ない
- ・老人クラブの活性化！！
- ・育成会の役員になる人が少ない
  - ・子どもの参加が少ない
  - ・保護者の参加が少ない

#### ●話題カード②に書かれたこと

「他の人の考えや思いも聞いた上で、古賀市を次世代に引き継ぐことができるまちにしていくために、みんなで大切にしたいと思うことは何ですか？」

- ・資源や歴史
- ・つながり→色々な世代が交流する機会作り→知り合いが増える、会話が增える→住みやすいまちになる！
- ・人とのつながり
- ・「町おこし」を通じて仲間意識を持てるようになれるとよい。 ・国が見習うような何かを作ること。
- ・人間尊重の時代を創る（向こう三軒両隣を作る）

- ・若い人達をあこがれの町づくり
- ・気兼ねのない人間関係をつくる

○話題②について模造紙に書かれたこと

- ・人との交流→具体的にどうするか。 みんなが楽しめるイベントを！！
- ・イベントをする→どうやったら集まる？
- ・異業種の集い
- ・同一趣味の人達の集合
- ・世代間交流の充実
- ・若い人達でも興味がわくイベントを！
- ・交流する機会→それを知る機会を作る
- ・どの世代でもみんなが楽しめるイベントが欲しい→また来たい！と思える
- ・イベントをしている人をはげます、応援
- ・高齢者が元気に暮らせてたら、若い人たちも定住する？
- ・社会参加
- ・しょう油を貸し借りできるくらいの近所づきあい
- ・会社⇄自宅になると出会いがない
- ・知人が増えるきっかけに
- ・趣味

◎発表用メモに書かれたこと

- ・ 人とのつながり

↓

- 交流する機会…
- ・ 世代間交流の充実
  - ・ 同一趣味の人達の集まり
  - ・ 異業種の人達の集まり
  - ・ どの世代でもみんなが楽しめるイベント
- (課題) どうやったら集まる？どうやって広める？)

↓

知り合いが増え、会話が増える

↓

定住したい！と思える、住みやすいまちになる

### 第3回古賀市自治基本条例策定委員会（平成27年3月11日実施）

「さらにお互い知り合いながら、まちづくりと今後の活動について語り合おう」  
～各テーブルの話題カード・模造紙に書かれたことのまとめ

#### 【2テーブル】

##### ●話題カード①に書かれたこと

「あなたにとって古賀市がずっと住みたいと思えるまちであるために、大切にしたいことは  
なんですか？何でも自由にお書きください」

- ・おもいやり、たすけあい、心のやすらぎ
- ・ご近所の方々との和
- ・古賀が地元じゃなくても、市民がつながる機会があり、居心地が良い
- ・意外に自由にイロイロ企画できる、そんな雰囲気
- ・お互いに関心を持つこと。孤立させない

##### ○話題①について模造紙に書かれたこと（※話題②関係の書き込みと判別が難しい）

- ・古賀での会社勤めでは古賀のことがわかる機会がない
- ・会社の寮には広報紙が届いていない
- ・古賀に住んでいる、古賀で働いている人たちのグループ
- ・古賀で働いているのに、古賀のことをしらない。古賀のこのアナウンスがない  
→どうやって古賀のことを知れるのか？古賀のことをどうやってアピールできるのか？古賀  
は目立つものがないけど、とても住みやすいというのが、もうちょっと見れるといいよね。  
知れるといいよね。
- ・孫・子どもが縁の軸になっている
- ・子どもを通じた縁、子どもの共通点がないときの新しいつながり、絆は？
- ・子育て世代が離れていってる
- ・ベッドタウンのようで昼間来ている人も多い
- ・表札もない、近所づきあいもない
- ・舞の里の地下道のタイル
- ・古賀のアピールポイントを新しく想像できないか？

##### ●話題カード②に書かれたこと

「他の人の考えや思いも聞いた上で、古賀市を次世代に引き継ぐことができるまちにしていくた  
めに、みんなで大切にしたいと思うことは何ですか？」

- ・意外に自由にイロイロ企画できる雰囲気
- ・歴史に興味をもって、子供たちに伝える一緒に参加できるイベントなどを開催 ・自然を大  
切にする
- ・若い人を育てる環境 ・人と人とのつながりや話をもっとできるような場をつくる
- ・物を大切に扱う
- ・人への思いやり、一人一人を大切にしてくれるまち、安全で安心して生活ができ、古賀に住  
んで良かったといえるまち

○話題②について模造紙に書かれたこと（※話題①関係の書き込みと判別が難しい）

- ・古賀市に住んでよかったと思えるまちにしたい
- ・新しい発見を！
- ・若い人をせめるわけじゃないけど、ゴミを捨てないまち。市民がまちをキレイにする意識をもつ  
→実は若い人だけじゃない！大人もゴミをすてている。そうじしてもしても捨てられている。  
    ビールの缶が田んぼに捨てられている
- ・こわさない、捨てない、そうさせない
- ・自転車とるんじゃない
- ・古賀のことをアピール、外にするのか？→それよりも内に向けてほしい→もっと住みやすいものにしてほしい→もっと目立つようにしてもらいたい
- ・先輩の知恵をどう受け継ぐか、どう伝えるか→色んな世代から、色んなものを受けとることのできる場はあるのか？
- ・となりの子供たちの面倒をみることはない
- ・同級生であっても、縦も横もつながりが薄い
- ・コスモックス＝バンド・18歳まで。スケボーパーク
- ・親父の会にすら参加しない。でも興味は持っているかも
- ・若い人が外へ出てこないのはなんで？→古賀以外で働いている
- ・老人クラブの方が中堅の社会で地域が成り立たない。高齢者の人達ががんばっているから、お年寄りだけでなく、みんなで一緒にがんばろう！対等の立場で付き合うことが思いやりではないか
- ・古賀にはあまりしぼりはないから更新しやすい→実は新しいことをやりやすいんじゃないか  
→それをあまり市民が知らないんじゃないか？それはとても淋しい
- ・広報をあまりみない→あんまり広報が魅力的じゃない→割引券、子供の写真とか若者の写真は成人式しかない→グラバー園ただ
- ・千鳥ヶ池や大根川の伝説についてのVHSテープでアニメがある→地名の由来とか面白い  
→思い入れがある。人って歴史が好き→小さいころからアニメ・伝説を伝えればいいのでは
- ・歴史を生かす取り組み（例：花見→井上陽水）
- ・〔大事〕古賀に関心を持ってない！どうやったら関心を持ってますか？  
→きっかけがない→きっかけは何をすれば？→子供・PTA、孫・老人会  
→若者は関心がない→若者にどうしたら関心を持ってもらえるの？  
→しない人はしない。する人はする。でも、一人でも興味を持ってもらうには？  
→やりたい！と思っている人を集めたらいいんじゃないかな？

◎発表用メモに書かれたこと

- ・古賀に関心を持ってない。→どうやってきっかけを作るのか？やりたい！と思っている人をあつめるといいのか？
- ・古賀に住んでるのに、古賀のアナウンスがあまりない。→広報があまり…。割引券つけてくれないかな。もっとおもしろく魅力的に。若者が見たいと思うものは？若者は自分の写真が出ていたら見る
- ・物を大切に。ゴミをすてない。大人も子供も、大人がキチンとしましょう

第3回古賀市自治基本条例策定委員会（平成27年3月11日実施）

「さらにお互い知り合いながら、まちづくりと今後の活動について語り合おう」

～各テーブルの話題カード・模造紙に書かれたことのまとめ

【3テーブル】

●話題カード①に書かれたこと

「あなたにとって古賀市がずっと住みたいと思えるまちであるために、大切にしたいことはなんですか？何でも自由にお書きください」

- ・住みよい町であり続けること ・思いやり（大切に）があふれる町 ・町をきれいに ・安心してくらせること
- ・安心して暮らせる（不審者が多い！） ・子育てしやすい
- ・人と人とのつながり ・満たされること。達成感とか、安心。 ・税金が安い ・思いやり
- ・20～30代の若者の活躍場所が少ない ・新婚さんが古賀に住みたがらない ・しゃれた場所、店等がない

○話題①について模造紙に書かれたこと（※話題②関係の書き込みと判別が難しい）

- ・思いやりあふれる町でいること
- ・部活がいっぱい
- ・町が1つのサークル
- ・若い人にチャンスのある町にする
- ・古賀は農業もさかんである。若者が農業できる古賀でありたい！！
- ・買い物弱者がないまち
- ・魚屋さんがほしい
- ・どうすれば若い人はふえるのか？閉鎖的？
- ・若い人があまり出てこない ・一度古賀に住むとあんまり出たいと思わない ・古賀は、なんかイメージがちょっと古い気がする。新しいかんじじゃない。
- ・地域とのつながり、若い人を集めるには？ →受け入れ、仕組み
- ・街灯少ない ・宗像市みたいに新婚さんに毎月お祝い金とか ・お年寄りが若者を育てる環境がない ・若者があんまり出てこない
- ・駅前開発は？住民のニーズはあるはずだけど
- ・企業を支援してくれるサービスがあるといい←商工会いけばあるはず！
- ・空家がいっぱいあるのにあんまり安くない
- ・不動産高い！
- ・古賀市民のみるテレビみたいの作ってほしい→ユーチューブとか、ポッドキャストとか
- ・気軽に薬王寺にいきづらい。遠い。
- ・実は、そこそこに古賀に満足している（笑）。すみやすい。
- ・駅前高いから、もっと安くしてもらいたい。商店街がさびしすぎ。古賀駅の景色が悪い。なんかごたごたしてすっきりしていない。
- ・首相がくるサミットみたいに古賀の見映えをもっと良くしてほしい。駅降りての景観がおしゃれじゃない
- ・その景観を使ってあえて着物同好会とかレトロなものにしたら？

- ・駅前まで食べてのんであそんでホテルとか、全部一緒にまとまっているといいなあ
- ・ビジネスホテルほしい！車をもっと安くかわせてほしい（笑）→車がない→乗合タクシー
- ・まちをキレイに→整備して欲しい、情報があまりない
- ・たくさんの団体が一つのホームページとか動画とかにしてわかりやすくしてもらいたい
- ・みんな関心がないだけ。松林とかあるきやすく整備してほしい
- ・世代間同士の交流
- ・よその場所からきた人が古賀のよいところをおしえてもらいたい
- ・選挙、だれに入れればいいのかわからない。選挙、おもしろくない。誰も有言実行している感じがないので投票しに行っても、なんか行く気にならない
- ・選挙カー、うるさすぎる～
- ・まちのコンセプトがわからない＝どういう町にしたいか？→安心・安全に暮らしたい→太宰府だと大仏。拠点がない→古賀っていったって古賀の名前以外でいいんじゃない？古賀駅からはなれて→古賀の有名なものがない

●話題カード②に書かれたこと

「他の人の考えや思いも聞いた上で、古賀市を次世代に引き継ぐことができるまちにしていくために、みんなで大切にしたいと思うことは何ですか？」

- ・子ども会（の組織）
- ・地域のコミュニティをとる仕組みづくりをする。そして子供を地域で育てる環境づくり
- ・少子高齢化が急速に進んでいる。少ない若い人達に古賀市を大切にする心を何とか伝えたい
- ・コミュニケーションが大事。世代間のつき合いを密にする

○話題②について模造紙に書かれたこと（※話題①関係の書き込みと判別が難しい）

- ・住民 排他的→受け入れる仕組み ←コミュニティに参加しやすく 新規住民
- ・地域コミュニティ、行政区、隣組→嫌われる（役員）
- ・隣組、区長→なり手がいない。高齢化「やるくらいなら隣組やめる」という人も隣組...今後近い将来、成り立たなくなる（みんな80歳になる）  
世代交代できるまちにしたいが
- ・地域行事→大変さ・楽しさ
- ・高齢化 市全域で！！ 特に農業。商業→シャッター街

◎発表用メモに書かれたこと

（なし??）

### 第3回古賀市自治基本条例策定委員会（平成27年3月11日実施）

「さらにお互い知り合いながら、まちづくりと今後の活動について語り合おう」

～各テーブルの話題カード・模造紙に書かれたことのまとめ

#### 【4テーブル】

##### ●話題カード①に書かれたこと

「あなたにとって古賀市がずっと住みたいと思えるまちであるために、大切にしたいことはなんですか？何でも自由にお書きください」

- ・自然の維持（里山） ・近隣都市（福岡市や北九州市等）への交通利便性
- ・人間関係～友人を大切にしたい
- ・子供が遊べる場所（施設、自然）が多いまちである事（清潔な環境）
- ・以前の話の中で「古賀らしさ、古賀市の特性をふまえて…」ということを知り、とても大切な部分だと思いました。古賀の特性を生かすことが、古賀の魅力がずっと続くのでは…と思います
- ・いい環境であること（きれいな空気、静かな街…） ・仲間意識が持てること（無理かもしれないが）

##### ○話題①について模造紙に書かれたこと

- ・古賀市自体にも職場を！！市内の交通網をどれくらい必要？
- ・色々な福祉を！！（気軽に使えるジムを）→健康の維持・増進
- ・趣味のつながり→それ以外の人とのつながり→人のつながりを広げたい
- ・歴史、自然、温泉、いいところがたくさんある→分からない→伝える

##### ●話題カード②に書かれたこと

「他の人の考えや思いも聞いた上で、古賀市を次世代に引き継ぐことができるまちにしていくために、みんなで大切にしたいと思うことは何ですか？」

- ・地域のコミュニケーション ・スポーツ、参加 ・有名な遺跡がせっかく出たのに古賀市の学校で教えてほしい
- ・古賀市のこれってという特徴ある名所、名物（子孫に残せる）の教育欲しい！！
- ・古賀の地域ごとの歴史や風習を市民が共有化できるように ・自然環境を守りたい
- ・地域の伝統的な行事を公開して、みんなで共有したらいいと思う
- ・歴史的に由緒あるところ、温泉、興山園、名所等、もっと皆の目にふれるようくふうして（アピールして）住んでる私達自身、知って意識できるように、そしてそういう所を外へむかってアピールしていくことが必要だと思います

##### ○話題②について模造紙に書かれたこと

- ・古賀市ってどんなところ？→説明できない。広報不足
- ・古賀市の歴史（遺跡等）、有名な物があるので学校や市民に伝える
  - ・学校…授業に取り入れる（古賀市教科書）
  - ・市民…駅やスーパー（人が集まる所）に写真などの展示
- ・コスモスがない→古賀市の花？
- ・グリーンパークは子どもが遊びづらい

◎発表用メモに書かれたこと

- 古賀の歴史
- 自然
- 人とのつながり（コミュニケーション）
- 子どもが遊べる施設



### 第3回古賀市自治基本条例策定委員会（平成27年3月11日実施）

「さらにお互い知り合いながら、まちづくりと今後の活動について語り合おう」

～各テーブルの話題カード・模造紙に書かれたことのまとめ

#### 【5テーブル】

##### ●話題カード①に書かれたこと

「あなたにとって古賀市がずっと住みたいと思えるまちであるために、大切にしたいことはなんですか？何でも自由にお書きください」

- ・住民目線の行政（洲本市の殺人事件）
- ・安全・安心面 ・高齢者・子どもたちのため
- ・高齢者、障害者、子どもたちにやさしいまち ・今ある自然を大切にする ・歴史を知る
- ・いわゆる「故郷（ふるさと）」 ・環境 ・人と人とのつながり ・歴史
- ・高齢者に優しいまち（介護等の悩みを相談できる場所や集まりがあるといい） ・交通の便利なまち

##### ○話題①について模造紙に書かれたこと

- ・住民
- ・安心安全
- ・情報（古賀っち検定、歩いてん道）
- ・歴史（古賀の歴史をもっと伝える ・青柳（由緒ある、古賀の発祥）、五所八幡宮（ムーミンの木）、唐津街道の中心（宿場町）、相撲大会→横大路さん小学生の時、出場）
- ・海（古賀の海岸をもっと美しく親水性のある海岸に（人工海浜を））

##### ●話題カード②に書かれたこと

「他の人の考えや思いも聞いた上で、古賀市を次世代に引き継ぐことができるまちにしていくために、みんなで大切にしたいと思うことは何ですか？」

- ・美しい環境づくり ・地域の人とのつながり
- ・一緒に考える（最近のニュース）
- ・自然（海、山）、自然プラス安全（整備） ・観光地をつくる（古賀の自慢できる（有名）スポットづくり）
- ・安心・安全 ・自然（里山） ・他都市への交通利便性
- ・歴史を大切にすることはどうかと話があった→体験型にしたらどうか ・お互いに関心をもつ

##### ○話題②について模造紙に書かれたこと

- ・町全体で、おもてなし
- ・環境
- ・古賀の自然
- ・里山
- ・古賀の魅力（住むための）
- ・観光スポット
- ・連携ある施設
- ・巡回バス（コミュニティバス）

- ・利便性（施設、交通）

◎発表用メモに書かれたこと

1. 安全・安心な街→挨拶の励行
2. 古賀の自然、海と里山
3. 古賀の魅力を見つける（歴史、観光、情報の共有）
4. 連携した施設と交通
5. 交通・施設の利便性
6. 環境